


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成30年 2月 16日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第8号	質問議員	2番	藤原 浩	
件名	事業の維持・継続が出来るよう儲かるしくみづくりを				
要 旨					
<p>山北町では、年間多くの観光に資する事業が行われている。そして、2018年度町は、スクラップ&amp;ビルド、ゼロベースでの見直しを掲げ町の経営に取り組むとしている。そうであるならば、行政とはいえコスト意識は重要である。町は事業の維持継続が出来るよう、「儲かるしくみづくり」に留意して、事業運営に取り組むべきと考え、以下の質問をする。</p> <p>丹沢湖畔エリアのイベントを観光資源として見直しを</p> <p>丹沢湖ハーフマラソン大会は、今年で40回目を数える歴史ある大会である。当初は、丹沢湖PRを目論んだ町の名物行事にするという意気込みで開催された。その後、第22回大会から、日本陸上競技連盟の公認コースになるなど、丹沢湖畔エリアはランナーに認められ、順調な歩みを続けてきた。しかし、去年は参加者を集めるのに苦労した事、最近の市民マラソン大会の増加を鑑みると、今後の大会運営を深く見直し、早急に改善する必要があると考え、以下の質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 最近の市民マラソン大会では、タイムに留意するランナーに加え、地元との交流、地域の産品を味わうことに、魅力を見いだすランナーが増えてきた。これは参加者であるランナーの声からも明らかである。そして最近の市民マラソン大会では、地域の産品が味わえる充実したエイドステーションが増えている。丹沢湖ハーフマラソン大会は、観光振興だけを目的とした大会ではないが、観光入れ込み客の増加に資する事業にするべく、特に5km等短い距離の参加者に対し、インスタ映えする景色や特産品、地元住民との交流ができるエリア、エイドステーションを増やし、内容を更に充実させて、町の特産品、歴史文化を味わえるしくみをつくれれば、参加者・地元の双方にとってメリットが大きく、大きな意義があると考えられるがどうか。</li><li>2. 参加者のコメントから改善を望む点として、「帰りの渋滞」が上げられる。駐車場の規模・位置の改善は、直ぐには望めないと考えられる。また、参加者の声では、鉄道施設へ接続するバスの遅れが指摘されている。丹沢湖畔の位置、道路事情を考えるとある程度の渋滞は、仕方がないと考えられる。ならば、JR等公共交通機関からツアーバスを用意し、それへの乗車を促す工夫を試みたらどうか。バスを使って到着される方に何らかの特典を与え、帰りのバスに有名ランナーやボディケアのトレーナーを乗せ、ツアーにしてしまう。渋滞の間が、意義のある時間になればストレスにはならないと思う。また大会終了後、ボディケアのミニセミナーを拡充させ、地域を楽しむミニツアーを行</li></ol>					



い、帰りの時間をずらせば、渋滞緩和につながり、町の製品のアピールにもつながり、双方のメリットは大きいと考えるがどうか。

#### 町の自然、歴史・文化財を観光資源として活用できるよう見直しを

第5次総合計画に記されているように、山北町には豊かな自然・温泉、河村城址などの歴史・文化財や豊富な観光資源を有し、首都圏近郊の観光レクリエーションの場になっていますが、近年、観光入れ込み客数は減少傾向にある。2020年東京オリンピックを控え、インバウンド需要を鑑み、観光振興施策の増強を図る必要があると考えられる。しかし、それを行政が先頭に立って行うことには、疑問がある。そこで、民間事業者が、新規参入も含め積極的に取り組めるよう以下の質問をする。

1. 山北町の歴史・文化については、山北の町史に記されている。しかし町史は学識経験者が纏めたものであり、紙媒体である事もあって一般の住民には扱いづらい。

小学校の授業での副読本として編集した冊子を元に、内容を更に充実させ資料化し、デジタルアーカイブとして一般の方が扱いやすくしたらどうか。そういった資料を基に、民間事業者がグリーンツーリズムを企画・事業化また新たな特産品の開発に結びつけられれば、雇用創出だけでなく、関係・交流人口の増加に繋がり、その後の定住に結びつけることも可能である。

2. 森林セラピー等の事業で、町が当初の役割を果たしたと考えられる事業は、事業協定を結び、町が協働して民間事業者が事業化出来るよう、参入を促すべきではないか。たとえば森林セラピー事業については、本来のセラピーとしての事業ではなく、自然散策の意味合いが強い観光施策として運営されており、参加者も伸び悩んでいる。町が事業への関わりを残し、民間事業者に委譲できれば、双方のメリットは非常に大きいと考えられるがどうか。